



モーセ、エライアス、エリヤは なぜカートランド神殿に現れたのか

大管長会のダリン・H・オックス管長は次のように教えています。「神権のすべての鍵は主イエス・キリストが保有しておられ、それはイエス・キリストの神権なのです。死すべき人間にどの鍵を委任するか、またそれらの鍵がどのように使われるかを定める御方は、イエス・キリストです。」³ 教会の大管長は、教会が機能するために必要なすべての神権の鍵を行使する権限を主から与えられています (教義と聖約 132 : 7 参照)。

「わたしたちが神にお会いする用意をするとき、カートランド神殿で回復された神聖な鍵について振り返ることで、自分が神からどのような責任を委ねられているかを知ることができます。」¹

—十二使徒定員会
クエンティン・L・クック長老



神権の鍵とは何か

神権の鍵とは、地上における神権の行使について指示を与え、治めるために神が神権指導者に与えられた権能です。²



モーセ

イスラエルの民をエジプトでの奴隷の状態から導き出した。



エライアス

「アブラハムの時代にいたと思われる」⁵



エリヤ

紀元前 900 年ごろの北イスラエル王国の預言者

話し合い

神権のおかげで、これまでどんな祝福を受けてきましたか。この「神から……委ねられている」業に携わるために、あなたはそのようなことができるでしょうか。

神権の鍵と権能

1836 年 4 月 3 日、主は旧約聖書の神権者であるモーセ、エライアス、エリヤをジョセフ・スミスとオリバー・カウドリのもとに遣わし、彼らに次のことを委ねました。

イスラエルの集合の鍵

「地の四方からのイスラエルの集合」(教義と聖約 110 : 11)
「集合について話すとき、わたしたちは次の基本的な真理について述べています。すなわち、幕の両側にいるすべての天の御父の子供たちは、回復されたイエス・キリストの福音のメッセージを聞くに値します。」⁴
—ラッセル・M・ネルソン大管長

アブラハムの福音の神権時代

「わたしたちと子孫によってわたしたちの後の時代のすべての者が祝福を受けるであろう」(教義と聖約 110 : 12)
「こうして〔アブラハムの聖約〕が新たにされたことにより、わたしたちはいにしへの時代と同じように、聖なる神権と永遠の福音を受けました。わたしたちは完全な福音を受け、神権の祝福を享受し、神の最も偉大な祝福である永遠の命にふさわしくなる特権を頂いています。」⁶
—ラッセル・M・ネルソン大管長

結び固めの力の鍵

「先祖の心を子孫に、子孫の心を先祖に向けさせ」(教義と聖約 110 : 15)
「旧約の預言者エリヤによって回復された結び固めの鍵は、聖なる神殿で行われる儀式を可能にしました。これらの神殿で執り行われる儀式により、個人と家族が天の両親のみもとに戻ることができるのです。」⁷
—十二使徒定員会 ゲーリー・E・スティーブソン長老

イラストレーター：ニールサム